



「収穫」

本格的な冬の訪れも間近い或日、畑で甘藷の取り入れが行なわれていた。
かつて畑作の王座を占めていた甘藷も、今はもう昔日の面影はない。時の動きと農業のうつり変りがしみじみと感じられる。
だが……。甘藷は絶えることなく、農家の中に生き続けて行くであろう。

十二月の

こよみ

- 3日(火) 児童福祉巡回相談
狂犬病注射
(3日～4日)
- 4日(水) 子牛せり市
人件相談所開設
- 5日(木) ミルク保護費支給
たばこ収納日
(6・7・9・10)
- 6日(金)
- 9日(月) 民生委員会
畜産振興役員会
- 10日(火) 国民年金相談所開設
(10・11・12)
インフルエンザ
(役場会議室)

- 12日(木) インフルエンザ
(上柴立公民館)
- 13日(金) 地域振興審議会
消防幹部会
インフルエンザ
(東大原公民館)
- 15日(日) 郡生協文化祭
(田代小)
- 17日(火) レントゲン
(脱漏者)
- 19日(木) 婦人がん検診
(19・20日)
- 20日(金) 小組合長会
定例議会
インフルエンザ
(役場会議室)
- 23日(月) 選挙管理委員会
農業委員会
茶業役員会
教育委員会
各学校終業式
インフルエンザ
(上柴立公民館)
- 26日(金) インフルエンザ
(東大原公民館)
- 28日(土) 御用納め





【4カ町し尿処理施設操業開始】

根占4町の共同施設として47年度から工事を進めていたし尿処理施設は48年末に完成し、49年4月から操業を開始した。敷地11,860㎡旧処理能力30Kℓ、総工事費1億2,300万円、施工者三菱建設KK

(柴立～辺志切線の鶴園橋附近)
【整備される道路】

49年度は道路整備事業として、町道舗装3線2,070m改良3線2,160m、農道舗装1線800m改良1線460m、林道新設1線570m舗装1線150mが計画され、殆んどの道路は工事に着手しており、年内に町道山ノ口線、柴立～辺志切線の舗装岩崎小梅校線、内ノ牧線の改良工事は完成しました。

県道も内之浦線の重岳～町境間の舗装、竹下橋～岩崎間の改良工事、中央線は早瀬地区の改良工事を実施中です。

(中村前水源地)
【簡易水道水源工事完成】

中央地区簡易水道の水不足を補うため、中村前の地下水源(地下70m)を利用した。水源増設工事は48年8月着工、49年2月完成した。
工費15,000千円 請負者豊水工業KK



【新田地区運動場完成】

町民の体力づくりを目的として、町は年次計画によって地区運動場の建設を進めていますが、大原校区に初めて新田地区運動場が49年3月完成しました。敷地面積5,870㎡、内運動場4,200㎡

49年度をふり返って その1年のあゆみ

議長 門前信好氏の
辞任により三月二十六日正
副議長の選挙が行なわれ、
議長に右田始氏、副議長に
小牧親典氏が当選されまし
た。



〈正副議長交代〉



(退任する原町長)



【奥花瀬ます釣場開設】

花瀬川上流、南風谷地区に8月14日開設
10月末まで釣場を開いたが、町内町外から
約1,400人の釣客が訪れ、本町のレジャー
産業として将来の発展が期待される。



【地域振興審議会、新大隅開発促進についての意見書提出】

地域振興審議会は10月15日、本町の振興に当って新大隅開発の早期実現が必要であるとの意見書を町長に提出した。



(当選証書を受ける門前町長)

〈町長交代〉

任期満了による町長選挙は5月19日に実施され、門前信好氏が当選されました。原町長は6月13日3期12年間に亘る町長の職を退任され、新町長に町政の引き継がされました。

小牧氏は十数年にわたり、田代町各種調査員として、貢献されていますが、今回労働力調査功労者として、内閣総理大臣から表彰されました。



※小牧昌枝氏
労働力統計功労者として
総理大臣賞を受賞

※大原中県統計
コンクールに入選

大原中学校は、このほど行なわれた、県統計グラフコンクール中学校の部に入選しました。

輝く表彰

※田代建設及び
ひろくま優良申告
法人として受賞

田代建設及びひろくまはこのほど、優良青色申告法人として、鹿屋税務所から表彰されました。



町民運動会

盛大に終る

第10回町民運動会は11月3日、田代中グラウンドで盛大に開かれました。秋晴れの天気にもぐまれ多数の町民でグラウンドはいっぱいでした。日頃忙しいお父さん、お母さんらも、仕事の苦勞を忘れて競技に熱中し、大応援のもとに楽しい一日でした。



森林は、木材の生産のほか、国土の保全、水資源のかん養、自然環境の保全等（私達の生活に重要な役割を果たしてあります。）このような森林を造成するため積極的に造林に努めましょう。

①一般には、約十三万円
②もし、あなた個人が、隣接する山主の方と共同で森林施設計画を作成して10ヘクタール以上、それ以外の場合20ヘクタール以上の団地造林を3年間で行なったら、約二十万円。

◎記事の訂正とおわび
11月号でお知らせしました母子健康相談が毎週金曜日となっていました。月曜日のあやまりでしたので訂正いたします。

造林で豊かな環境。緑の郷土!!

商品作物として 最も有利で安定している 葉たばこを作しましょう

現在、農作物の大部分は生産過剰、価格の不安定等で農家の方々は困っておられるようです。

葉たばこはその点、専売品であり、価格も補償され最も安定した作物となっています。

本年度の実績も反収約34万円、耕作者1人当たり、250万円となっています。

専売公社では、現在50年度の新規耕作者を募集中です。ご希望の方は12月20日までに専売公社、又はたばこ耕作組合に申込んでください。



町社会福祉協議会に

多額の寄付

11月17日、田代中学校体育館で昼夜2回、市来渡氏

の主催によるチャリティー公演、江戸城総攻めが催されました。

あいにくの雨にもかかわらず、多数の町民が観覧しましたが、激動期に生きる人間群像をえがく維新劇の大変りっぱなものでした。この公演は入場無料でしたが、会場に募金箱を設け集まった募金五万二千八百十九円を、町社会福祉協議会に寄附されました。この善意に対し、町民一同お礼申し上げます。

た、約十二万円

◎あなたの山がヤセ地で造林してもあまり大きくならないと思われるところは、肥料木を植えたり、肥料をやったりして造林すると、約二十八万円



【田代小学校屋内運動場完成】

鉄筋コンクリート、面積733㎡、工費36,600千円、田代建設が落札、48年7月着工、49年3月落成。



【創立100周年を迎えた田代小学校】

田代小学校は本年創立100周年を迎え、3月10日校区民約300人が参加して、盛大な式典が行なわれた。

田代町章の募集

次により、田代町章（シンボルマーク）の図案を募集します。振ってご応募ください。

◎趣旨

田代町の現況と将来の発展を象徴するもの

◎応募資格

町内、町外の別なく誰でも可

◎規格等

大きさはハガキ大とし、色は二色以内とする。

図案については簡単な作図法、及び何を表わしているかの説明書を添付すること。

◎提出期限

昭和50年1月末まで

◎提出先

田代町企画室

◎謝金

採用された作者には、相当の謝金を贈ります。



【稲尾岳 自然環境保全地域第1次候補地に決定】

日本の貴重な自然を守ることを目的とした「自然環境保全法」による自然環境保全地域の第1次候補地として、全国2ヶ所の内の1ヶ所として稲尾岳が決定されました。近く正式に指定される見込です。

住宅取得控除

今年、家を新築したり建売住宅を買った場合、家の床面積が一六五平方メートル以下の方は、税務署に申告すると、床面積三・三平方メートルにつき一〇〇〇円、最高三万円までが毎年三年間つづけて「住宅取得控除」として税金から差引かれたり税金が返ったりすることがあります。新しく家を建てたり、建売住宅を買ったりした方は税務署にご相談ください。



(完成した豚舎)

養豚団地育成

パイロット事業始まる

なんぐう農協では、上場の畑作地帯の農業振興を目的として、常時一万頭の肉豚の集団肥育団地を計画し、その仔豚供給事業として、養豚団地育成パイロット事業を始めました。

パイロット事業は、大根占、根占、田代の三町に五か所計画され、本町にも一か所できることになりました。本町は、表木部落の尾ノ後幸一郎氏が、なんぐう農協の委託を受けて、表木の後上之原に種豚一〇〇頭を

収容する大型豚舎二棟が完成間近であり、近く種豚が入る見込みです。ここでは、一〇〇頭の種豚を飼育し、年間一六〇〇頭の仔豚を生産し、集団肥育団地に供給する計画で、先に誘置したプロイラー施設と共に、本格的な大型畜産経営事業が始まることになります。

親と子はあたたかい

思いやりの心から

人権週間十二月四日～十日

最近私たちの社会生活のなかで、自分の立場や権利のみを主張して、相手の立場や権利を全然考えないという傾向に思われます。

そして、いろいろな人権問題をひき起しています。このような考え方は人間の問題だけでなく最も身近な親子の間にも入ってきているようです。

とくに親と子の間では、深い情愛のもとに、お互いに思いやりといったわりの心から毎日の生活を送りたい

ものです。人間の基本的な権利は何ものにも換えられない大切なものです。

法務局や人権擁護委員は人間の権利についての相談相手です。いろいろな問題で悩んだり困っておられる方は、気軽に尋ねてください。無料で、秘密は守ります。

田代町の人権擁護委員は次の方です。
住所 田代町 橋ノ口
氏名 右田 郁男

みごとに育った永寿会員の自然木 来春には初出荷の見込み



育成は極めて順調でクスは、来年の春には出荷できるということであります。

この自然木は、四十八年の四月に、二〇人の永寿会員が、マテ、クスの稚苗約二万本を植えつけ、三年後に出荷する計画でしたが、会員の管理がよかったため、クスは現在一、八メートル近くになり、一年早く出荷の見通しが、ついたものです。

自分の趣味を生かしながら、収入があがる苗木づくりは、高令者の方に最適な仕事だと思えます。



人口のうごき

49.11.1 現在

世帯数	1,515
男	2,259
女	2,623
総計	4,882

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません